

◆ 今週のコメント

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳未満男性)あり、型別はO157(VT1VT2)です。本年の累積報告数は9例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 30歳代)あり、症状は下痢です。本年の累積報告数は13例となっています。
- ・ 梅毒の報告が2例(30歳代女性, 20歳代男性)あります。本年の累積報告数は19例となっています。過去10年間で最多となった平成26年(11例)をすでに上回っています。今後の発生動向にいつそうの注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <伝染性紅斑>

- ・ 伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.78(32例)で、前週 0.51(21例)より増加しており、過去5年の同時期と比較して最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 「手足口病」について

- ・ 手足口病の定点あたり報告数は20.05(822例)です。6月18日(第24週)に手足口病流行発生警報を発令しており、現在継続中です。詳細な流行状況について別紙に掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例(第27週追加分)【1月以降の累積報告数 13例】
- ・ 五類: 梅毒(早期顕症梅毒Ⅱ期1例, 無症状病原体保有者1例)【1月以降の累積報告数 19例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

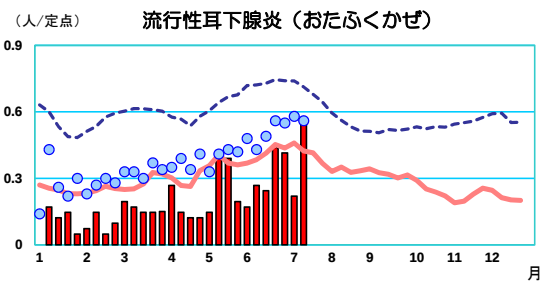
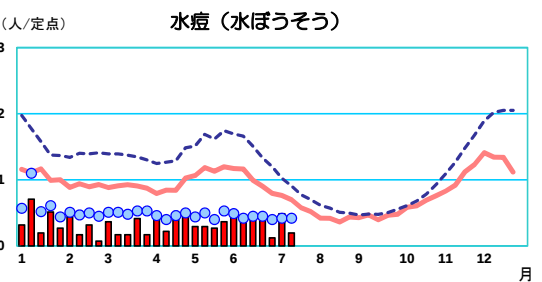
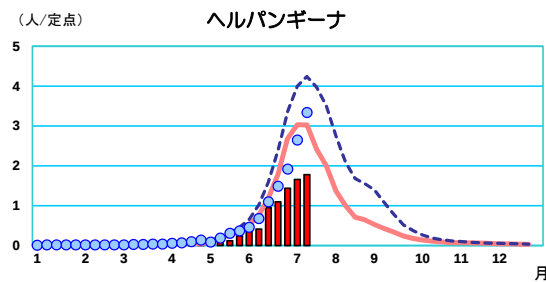
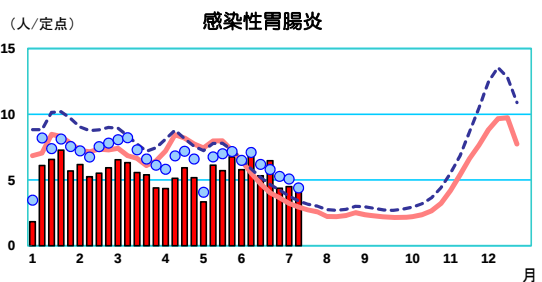
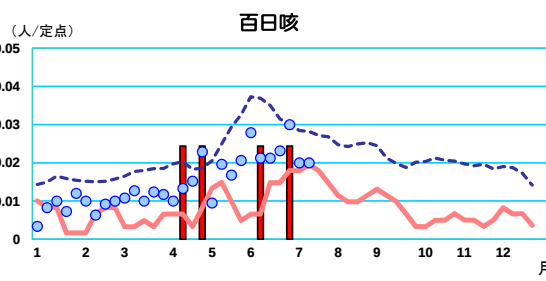
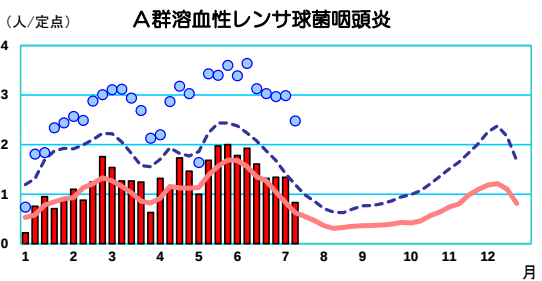
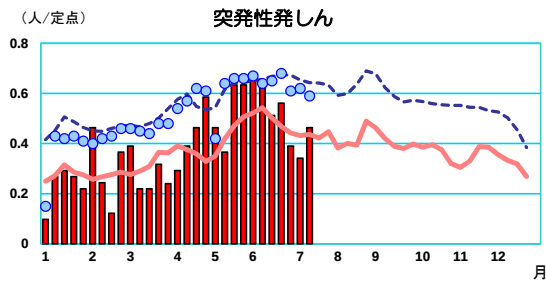
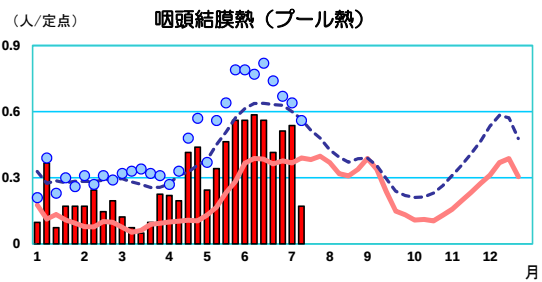
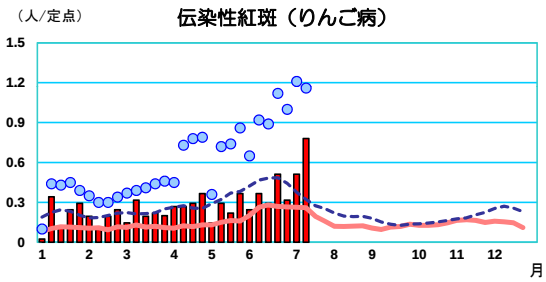
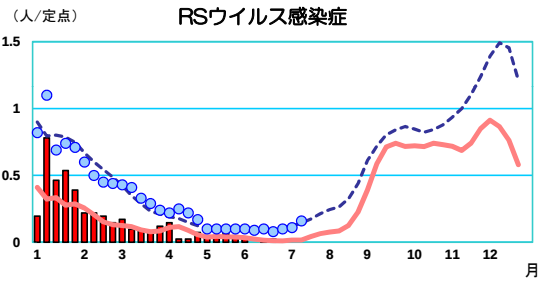
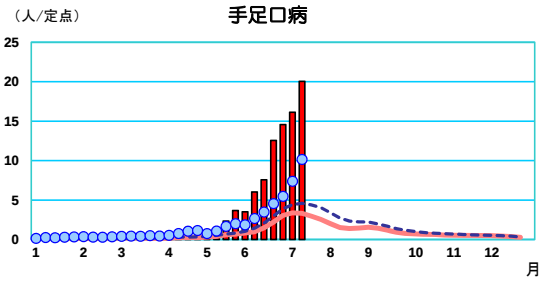
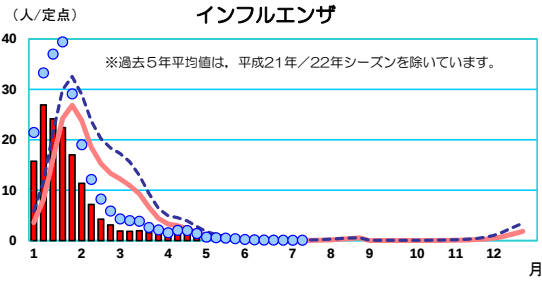
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0. 03	2
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	20. 05	822
	② 感染性胃腸炎	4. 32	177
	③ ヘルパンギーナ	1. 78	73
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 83	34
	⑤ 伝染性紅斑	0. 78	32
眼科	流行性角結膜炎	0. 50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <伝染性紅斑> / 手足口病について
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年7月23日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第29週(7月13日～7月19日)トピックス: <伝染性紅斑>

京都市及び全国の発生動向

伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.78(32例)で、前週 0.51(21例)より増加しており、過去5年の同時期と比較して最も多い報告数となっています。感染症法に基づく調査が開始された平成11年以降、流行のピークが高く、比較的大きな流行となったのは、平成13～14年、平成18～19年、平成22～23年であり、4～5年ごとの周期で報告数が多くなっています。前回の流行が平成23年であったことに加え、昨年秋頃から過去5年平均値を上回る状況が続いていることから、今後の発生動向に注意が必要です。

全国においても、昨年秋頃から平成23年以降の増加を示しており、特に茨城県(2.28)、埼玉県(2.51)、長野県(3.30)、滋賀県(2.03)、大分県(3.06)においては、警報開始基準値である『2.0』を上回っています。

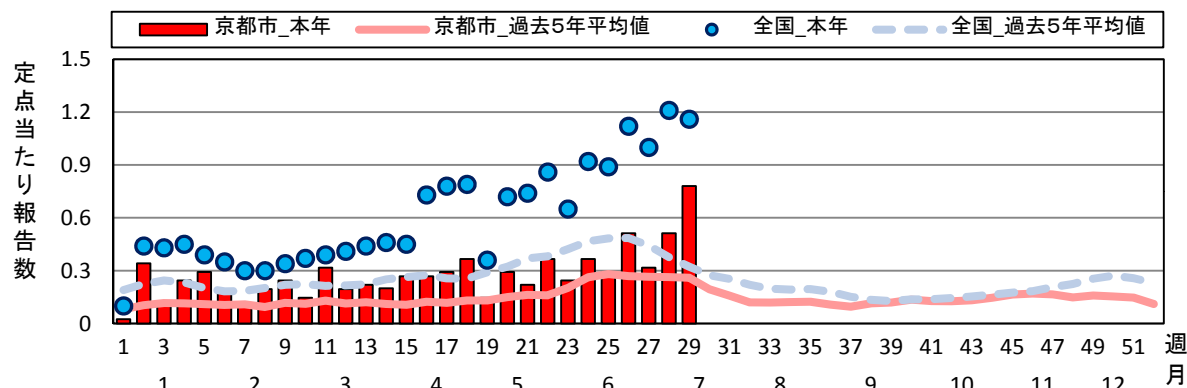
感染経路と症状

本疾患は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫あるいは接触によって感染します。10～20日程度の潜伏期間の後、両頬にりんごのような紅い発疹が現れ、続いて手足にも発疹がみられます。5歳前後の小児に多く、ほとんどは軽症ですが、成人では関節炎症状がでることもあります。

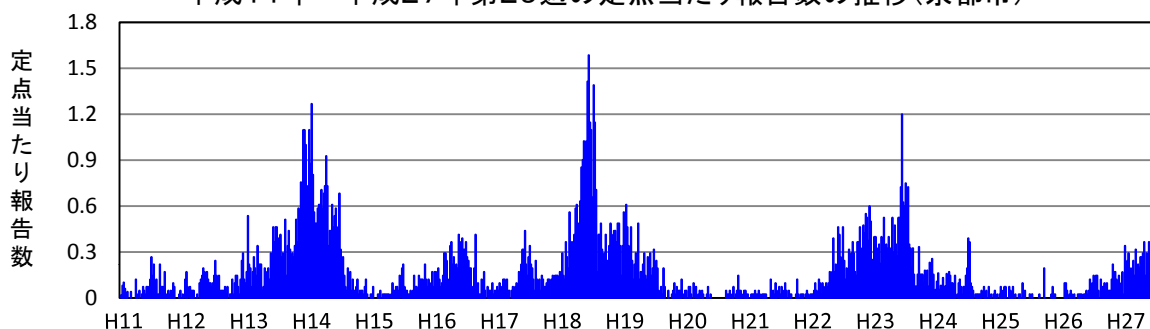
予防

予防接種はありませんので、日頃から一般的な感染予防対策(手洗い、うがい、せきエチケット等)を心がけることが大切です。また、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産を起こす可能性があるため、伝染性紅斑の流行期には、妊婦はかぜ症状の人に近付かないように注意してください。

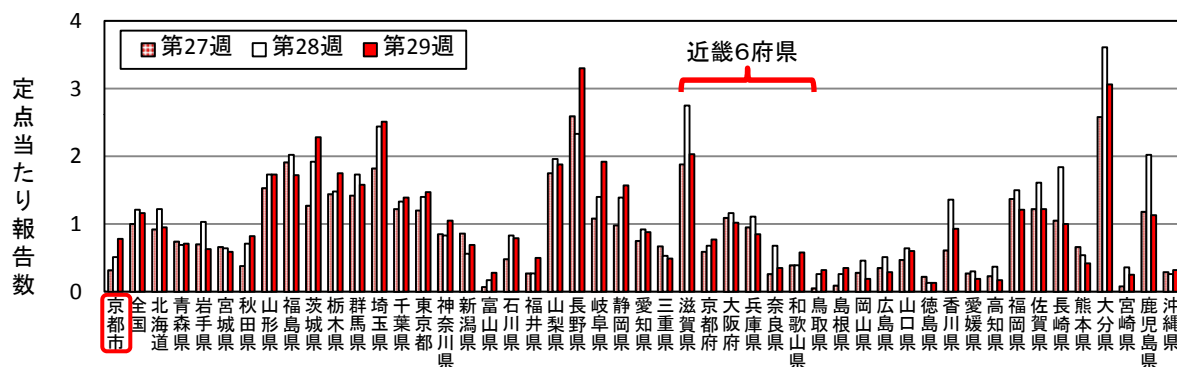
京都市及び全国の定点あたり報告数の推移



平成11年～平成27年第29週の定点あたり報告数の推移(京都市)



都道府県別定点あたり報告数の推移



手足口病が大流行しています！！

【概況】

手足口病の定点当たり報告数は20.05(822例)となり、昭和57年以降で過去最大の流行となっています。京都市は6月18日に、京都府は6月29日に、流行発生警報を発令しており、現在も継続中です。また、近畿6府県を含む35都府県で警報レベルの「5.0」を超え、第27週(6月29日～7月5日)には全国の定点あたりの報告数も5.48と警報レベルの「5.0」を超えています。

予防方法として、流水と石けんによる手洗いの徹底やタオルの共有をしないことが重要です。また、治った後も、2～4週間はウイルスが排出されるので、保育施設等では便の処理に注意が必要です。

【第29週(7月13日～7月19日)時点での流行状況】

図1 京都市と全国の流行状況

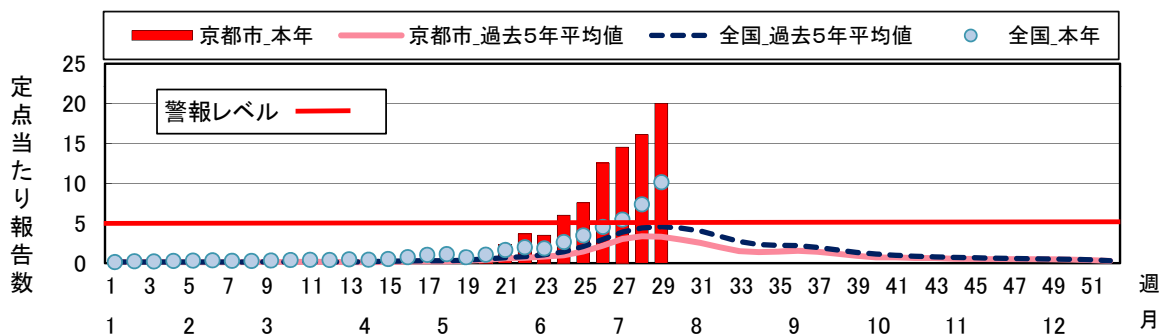
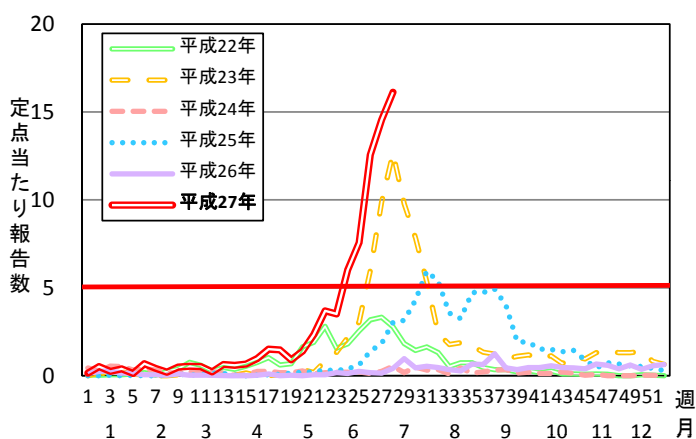


図2 京都市の過去5年間の流行状況



	警報レベル 超過週	ピーク時 週数	警報 期間
平成22年		第27週 (3.32)	
平成23年	第26週 (5.98)	第28週 (12.68)	7週間
平成24年		第28週 (0.54)	
平成25年	第31週 (5.95)	第31週 (5.95)	8週間
平成26年		第37週 (1.24)	
平成27年 (～第29週)	第24週 (6.02)	第29週 (20.05)	継続中

図3 都道府県別定点当たり報告数の推移

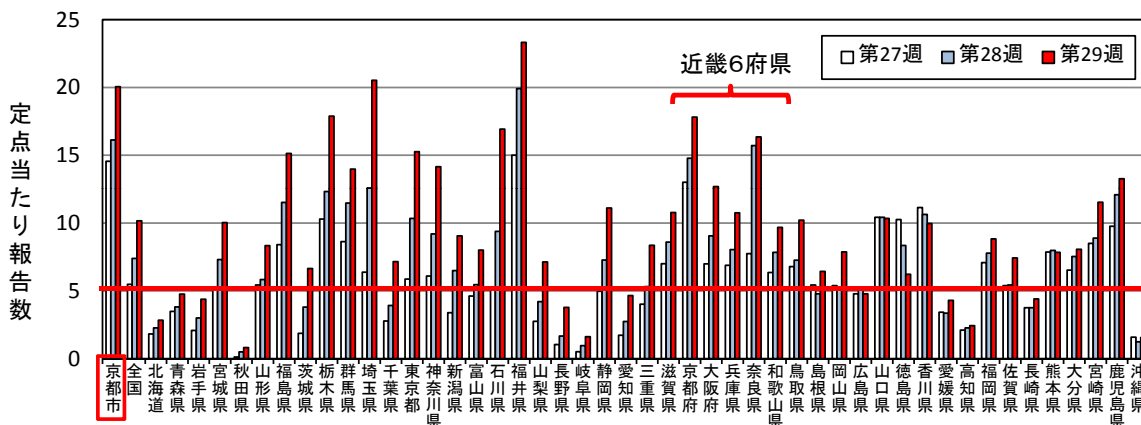


図4 京都市内行政区別 発生状況の推移

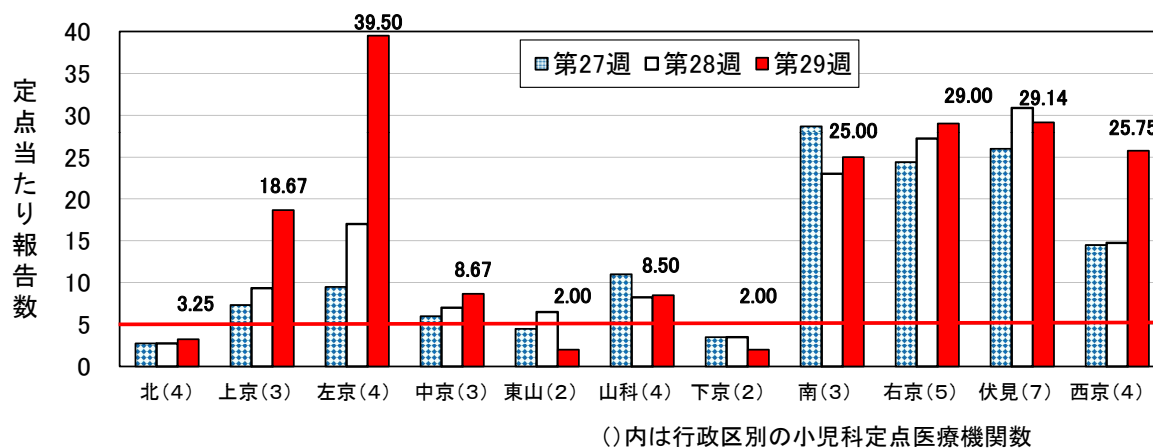


図5 京都市年齢階級別構成割合

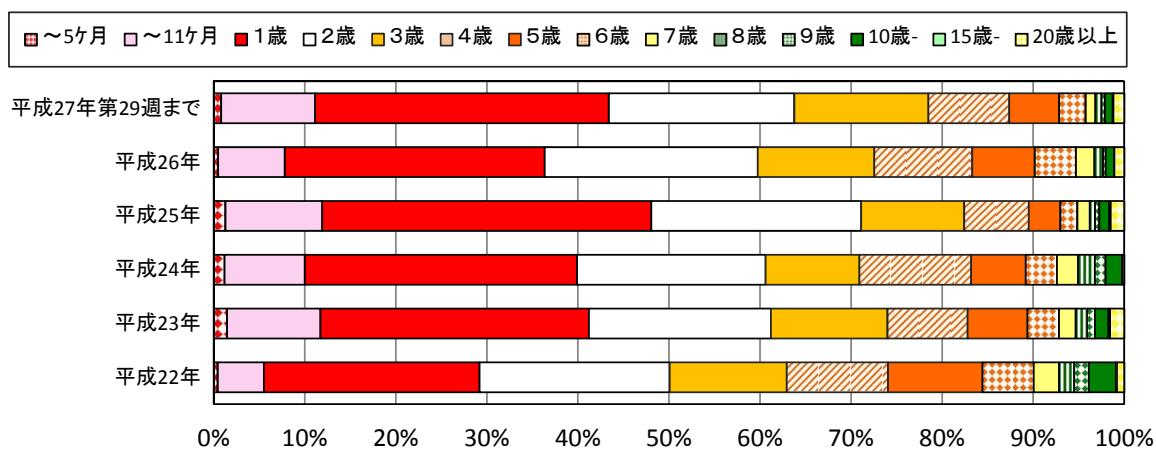
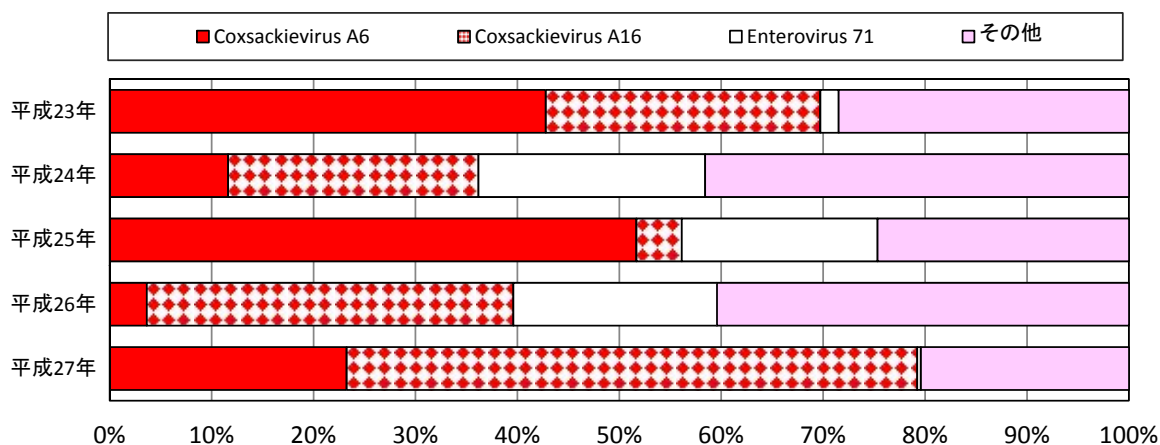


図6 全国の手足口病由来ウイルス分離・検出状況(7月17日現在)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第29週

疾病,行政区別報告数

平成27年7月13日～平成27年7月19日

データ入手日:平成27年7月23日

	インフル エンザ (※1)	RS ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (※3)	感 染 性 胃 腸 炎 (※4)
男女合計																			
北	-	-	-	-	10	-	13	-	-	-	4	-	-	1					
上京	1	-	-	2	5	1	56	1	1	-	8	-	-	-					
左京	-	-	-	5	22	1	158	-	2	-	8	-	-	-					
中京	1	-	-	-	5	1	26	1	1	-	8	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	18	1	4	-	1	-	4	2							
山科	-	-	-	10	3	-	34	2	4	-	1	-	-	1					
下京	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-							
南	-	-	-	2	12	-	75	6	1	-	16	4							
右京	-	-	7	1	34	4	145	3	-	-	1	1	-	2					
伏見	-	-	-	9	41	-	204	11	9	-	15	16	-	-					
西京	-	-	-	5	27	-	103	8	-	-	4	-	-	-					
京都市計	2	-	7	34	177	8	822	32	19	-	73	23	-	5	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ (※1)	RS ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (※3)	感 染 性 胃 腸 炎 (※4)
男女合計																			
北	-	-	-	-	2.50	-	3.25	-	-	-	1.00	-	-	1.00					
上京	0.20	-	-	0.67	1.67	0.33	18.67	0.33	0.33	-	2.67	-	-	-					
左京	-	-	-	1.25	5.50	0.25	39.50	-	0.50	-	2.00	-	-	-					
中京	0.20	-	-	-	1.67	0.33	8.67	0.33	0.33	-	2.67	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	9.00	0.50	2.00	-	0.50	-	2.00	1.00							
山科	-	-	-	2.50	0.75	-	8.50	0.50	1.00	-	0.25	-	-	1.00					
下京	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	2.00	-							
南	-	-	-	0.67	4.00	-	25.00	2.00	0.33	-	5.33	1.33							
右京	-	-	1.40	0.20	6.80	0.80	29.00	0.60	-	-	0.20	0.20	-	2.00					
伏見	-	-	-	1.29	5.86	-	29.14	1.57	1.29	-	2.14	2.29	-	-					
西京	-	-	-	1.25	6.75	-	25.75	2.00	-	-	1.00	-	-	-					
京都市計	0.03	-	0.17	0.83	4.32	0.20	20.05	0.78	0.46	-	1.78	0.56	-	0.50	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:平成27年第29週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年7月13日～平成27年7月19日

データ入手日:平成27年7月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		7	-	-	4	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34	-	-	1	2	5	4	4	1	1	2	5	5	-	4						
感染性胃腸炎		177	2	8	32	22	16	8	16	10	15	8	6	13	3	18						
水 痘		8	-	1	1	1	-	2	1	1	-	-	-	1	-	-						
手 足 口 病		822	7	106	235	137	119	88	51	37	8	7	3	11	1	12						
伝 染 性 紅 斑		32	-	1	3	-	2	6	6	1	4	2	4	3	-	-						
突発性発しん		19	-	10	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		73	-	5	19	16	11	7	4	5	1	1	1	1	1	1						
流行性耳下腺炎		23	-	1	1	3	3	4	1	1	5	-	1	2	-	1						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.03	-	-	0.01	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.17	-	-	0.10	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.83	-	-	0.02	0.05	0.12	0.10	0.10	0.02	0.02	0.05	0.12	0.12	-	0.10						
感染性胃腸炎		4.32	0.05	0.20	0.78	0.54	0.39	0.20	0.39	0.24	0.37	0.20	0.15	0.32	0.07	0.44						
水 痘		0.20	-	0.02	0.02	0.02	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-						
手 足 口 病		20.05	0.17	2.59	5.73	3.34	2.90	2.15	1.24	0.90	0.20	0.17	0.07	0.27	0.02	0.29						
伝 染 性 紅 斑		0.78	-	0.02	0.07	-	0.05	0.15	0.15	0.02	0.10	0.05	0.10	0.07	-	-						
突発性発しん		0.46	-	0.24	0.17	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		1.78	-	0.12	0.46	0.39	0.27	0.17	0.10	0.12	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02						
流行性耳下腺炎		0.56	-	0.02	0.02	0.07	0.07	0.10	0.02	0.02	0.12	-	0.02	0.05	-	0.02						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	0.10	-	0.10	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第29週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年7月23日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	4	1	2	4	2	2
RSウイルス感染症	-	1	1	-	-	-
咽頭結膜熱	24	23	17	21	22	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	79	66	54	55	55	34
感染性胃腸炎	284	218	265	179	184	177
水痘	16	16	17	5	20	8
手足口病	247	310	515	597	661	822
伝染性紅斑	15	12	21	13	21	32
突発性発しん	26	21	23	16	14	19
百日咳	1	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	17	39	45	59	68	73
流行性耳下腺炎	11	10	18	17	9	23
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	6	6	8	5	5
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	734	723	984	976	1,061	1,202

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.06	0.01	0.03	0.06	0.03	0.03
RSウイルス感染症	-	0.02	0.02	-	-	-
咽頭結膜熱	0.59	0.56	0.41	0.51	0.54	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	1.61	1.32	1.34	1.34	0.83
感染性胃腸炎	6.93	5.32	6.46	4.37	4.49	4.32
水痘	0.39	0.39	0.41	0.12	0.49	0.20
手足口病	6.02	7.56	12.56	14.56	16.12	20.05
伝染性紅斑	0.37	0.29	0.51	0.32	0.51	0.78
突発性発しん	0.63	0.51	0.56	0.39	0.34	0.46
百日咳	0.02	-	-	0.02	-	-
ヘルパンギーナ	0.41	0.95	1.10	1.44	1.66	1.78
流行性耳下腺炎	0.27	0.24	0.44	0.41	0.22	0.56
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1.00	0.60	0.60	0.80	0.50	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	18.62	18.08	24.43	25.35	26.24	29.68

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。